



# 大阪文化祭賞を贈呈しました

◆主催：大阪府、大阪市、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

(2024年3月22日／NCB会館)



前列左から、大槻裕一さん(能楽師 シテ方)、山村若葵紀さん(舞踊家)、京山幸太さん(浪曲師)、桐竹勘十郎さん(人形浄瑠璃文楽座 人形遣い)、金満里さん(態変主宰)、延原武春さん(日本テレマン協会 音楽監督)、村角太洋さん(THE ROB CARLTON主宰)、中野光子さん(World Dream Project 実行委員長)、後列は各部門の審査委員長ほか。

## 60周年の節目「壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段」出演者ら9公演に贈呈

関西・大阪21世紀協会では、大阪府・大阪市とともに、芸術文化活動の奨励と普及、大阪の文化振興の機運醸成を目的に、大阪府内で1年間に上演された公演の中から、独創性、企画、内容、技法などが総合的に優れた公演に対して、部門ごとに「大阪文化祭賞」と「大阪文化祭奨励賞」を贈呈しています。

この賞は1963(昭和38)年に創設され、今回は60回目の記念すべき節目を迎える贈呈式となりました。第1部門の大阪文化祭賞の受賞者代表として登壇した桐竹勘十郎さんは、「人形浄瑠璃文楽はよく総合芸術と呼ばれますが、多くの力を合わせて一つの舞台を作り上げていくものです。今回、賞を頂戴できたことを出演者ならびに関係者一同、誠にうれしく思っております」と挨拶。各受賞者



日本テレマン協会による受賞者記念公演

からも喜びの声が聞かれました。

贈呈式の後半では、日本テレマン協会による受賞者記念公演としてG.Ph.テレマンの『シンフォニア』などの曲が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

関西・大阪21世紀協会は、芸術・文化分野における人材育成やアーティスト支援の一環として、大阪文化祭賞の事業運営を事務局として行うとともに、受賞者の一層の励みとなるよう副賞賞金として大阪文化祭賞に20万円、同奨励賞に5万円をそれぞれ贈呈しています。



左から、桐竹勘十郎さん、金満里さん、延原武春さん

### 2023(令和5)年度・各部門の受賞者

敬称略／部門順、五十音順

第1部門 伝統芸能・邦舞・邦楽	大阪文化祭賞 ▶ 「壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段」出演者一同 「初春文楽公演『壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段』」の成果
	大阪文化祭奨励賞 ▶ 大槻 裕一「大槻文蔵裕一の会『道成寺』」の成果 山村 若葵紀「新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会『鐘ヶ岬』」の成果
第2部門 現代演劇・大衆芸能	大阪文化祭賞 ▶ 態変「私たちはアフリカからやってきた」の舞台の成果
	大阪文化祭奨励賞 ▶ 京山 幸太「十三浪曲寄席『パンク侍、斬られて候 三本勝負』」の口演の成果 THE ROB CARLTON「Meilleure Soirée(メイユール・ソフレ)」の舞台の成果
第3部門 洋舞・洋楽	大阪文化祭賞 ▶ 日本テレマン協会「第300回定期演奏会」の成果
	大阪文化祭奨励賞 ▶ 会所 幹也「会所幹也リユートリサイタル」の成果 World Dream Project 実行委員会「第9回 World Dream」の成果